

若手職員の

# INSIDE TALK

福岡市役所で活躍している若手職員に率直な意見をお聞きました！

プライベートまで聞いてみました

仕事のやりがいや職場の雰囲気

## Q1. 福岡市職員を志望した理由は？

進学をきっかけに福岡市に住み、このまちにとっても魅力を感じたからです。多くの人に選ばれ、勢いのある福岡市のさらなる発展・魅力向上に市職員という立場に関わりたいと思い志望しました。

政令指定都市で一番の人口増加率を誇り、これからも多くの発展が見込まれる福岡市で自分もその発展に貢献し、個人としても成長できればと思いました。



## Q3. 職場の雰囲気は？

誰に何を聞いても一から丁寧に教えてくださり、優しく尊敬できる方ばかりの職場です。市の方針や国、他自治体の動きにも敏感な方が多く、新聞にも毎朝目を通し、内容について意見を交換することもあります。

私の所属は年齢の幅が広く、皆さん和気あいあいと業務に取り組んでいます。困ったことはすぐに相談できる環境が整っていると思います。



## Q7. 今後のキャリア形成について考えていることはありますか。

異動で様々な職場を経験できるのが魅力です。まずは今の担当業務の専門性を深めることを目標とし、将来的には大規模なまちづくりに携わりたいです。そのために幅広い視野を持って日頃の業務に取り組みたいと考えています。

異動を通じて幅広い業務を経験し、視野を広げたいです。知識と経験を積み重ねることで、地域に貢献していきたいと思っています。



## Q2. 働き始めてからのギャップはありますか？

想像以上にオンオフの切り替えができています。休みの日はしっかり休めるし、平日も帰宅後は好きなことをしてゆっくり過ごしています。

入庁前はどんな部署に配属されるのか、どんな人がいるのかと緊張していましたが、働き始めてみるととてもあたたかい職場で職員間の仲が良く、楽しく仕事できています。



## Q4. プライベートの過ごし方は？

先輩や同期の友人たちとランチに行ったりして親交を深めています。福岡は自然豊かな場所が多いので、週末はドライブで糸島などに行ったりしています。

月に一度は実家に帰省して家族と過ごし、その他は友達とご飯を食べに行ったり、予定がない日は家でんびりしたりしています。自分でも驚いたのは人生で初めて読書に夢中になっていること。趣味の合唱も月1回、大学時代の友達と続けています。

## Q5. 職場としてのおすすめポイントは？

同期の人数が多いので、困ったことや新人だからこそその悩みを相談しやすい環境だと思います。また、休暇も取りやすく、ワークライフバランスがとりやすいところも大きな魅力です。

幅広い業務に対する研修制度が充実していて、スキルアップできます。成長を支援する環境や仕組みが整っているのもありがたいです。



## Q6. 働くうえで大切にしていることは？

誠実さと責任感を持って取り組むこと！市民に信頼される職員を目指しています。

様々な部署で多くの職員が働いています。時には職員同士で異なる意見を交わさなければならない場面もありますが、同じ福岡市で働く仲間としてそれぞれの立場を尊重しながら、協力して業務を進めていくことを大切にしています。

## Q8. これから福岡市職員を目指す人へのメッセージを！

福岡市は時代の変化に合わせて様々な取り組みを行っているので、新しいことに挑戦できるチャンスがたくさんあります。ぜひその機会を逃さず、いろいろなことに積極的に挑戦してください！

同僚や上司がたくさんいるので、その点は安心してください！



# INFORMATION

## 福岡市役所の働き方 ワーク・ライフ・バランスの推進

ワーク・ライフ・バランスを推進するため、産前産後休暇や育児休業のほか、育児短時間勤務、子の看護等休暇など、子育て支援のための制度を設けています。また、「福岡市特定事業主行動計画」を策定し、育児休業や年次有給休暇などについて職員の取得数値目標を設定したり、毎週水曜日のほか、毎月「1～7日(い～な)ふくおか・子ども週間」を定時退庁日とするなど、様々な職場環境の整備を進めています。さらに、勤務の終わりにから翌日の勤務開始までに11時間の休息時間を確保する「勤務間インターバル」に加え、週休3日も選択できるフレックスタイム制や在宅勤務制度など、柔軟な働き方の推進にも取り組んでいます。

### 職員の声 ※令和7年度調査結果

○ワークライフバランスがとれていると考える職員

79.4%

○メリハリのある働き方を意識している職員

88.2%

### 男性職員の育児休業など ※令和6年度実績

○子どもが生まれた職員の育児休業取得率

100%

女性の管理職

※令和7年5月1日時点

20.3%

○出産・育児支援休暇取得率

86.1%

平均年次有給休暇取得日数

※令和6年度実績

16.8日

政令指定都市で1位!



## 働き方DXの推進

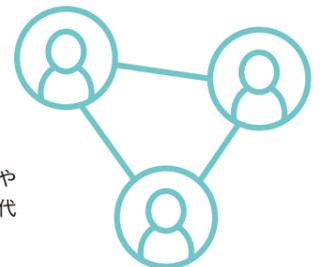
業務の効率化や生産性の向上を図るため、次世代型の市役所にアップグレードすることを目指した働き方DXに取り組んでいます。

### テレワークの推進

出張時や外勤時のモバイル勤務や在宅勤務などのテレワークを柔軟に行える環境を整備し、テレワークの推進に取り組んでいます。

### クラウドサービスの活用

TeamsやCopilotといったMicrosoft365やkintoneなどのクラウドサービスを活用した時代に合った働き方を推進しています。



## 勤務条件・待遇

### 配属先

新規採用職員は、多くの人が、市民と接する部署に配属されます。できるだけいろいろな仕事を経験してもらうため、局・区(消防吏員は、消防本部・消防署)にわたる人事異動を行っています。

### 休日・勤務時間

休日は土曜日・日曜日(完全週休2日制)、祝日、年末・年始です。勤務時間は原則として午前8時45分から午後5時30分までです。

※消防吏員など、交替制勤務に従事する職員は、休日異なります。

### 福利厚生

病気やけが・出産・結婚などのときに給付を行う事業や健康診断の実施、生活や住宅取得などのための各種貸付、余暇活動の支援事業などを行っています。

### 給与・諸手当

右の表は新卒者を例にとった給与月額(給料+地域手当)です。このほかに条例などの定めるところにより、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(ボーナス)などが支給されます。

※上位の学歴や経験年数を有する人は、一定の基準により加算されることがあります。

採用時給与月額		※令和7年4月1日現在
上級(大学卒業程度)	252,780円	
中級(短大卒業程度)	231,550円	
初級(高校卒業程度)	218,240円	
消防吏員A(大学卒業程度)	260,810円	
消防吏員B(高校卒業程度)	233,200円	
獣医師	265,760円	
保健師(大学卒業の場合)	258,280円	
保育士(短大(2年)卒業の場合)	231,550円	

### 昇任

○行政事務・行政技術の場合

係員	主任	総括主任	係長	課長	部長	局長
----	----	------	----	----	----	----

○消防吏員の場合

隊員	副小隊長	小隊長	係長	課長	部・署長	局長
----	------	-----	----	----	------	----